

広報



まつざき

2005
(平成17年)

12

No. 499



まつり最高潮！

主な内容

- ◆町長選挙……………P 2
- ◆行政改革・ゴミ処理手数料…P 3
- ◆重文岩科学学校の姉妹館提携…P 4
- ◆税法改正……………P 5
- ◆功労者表彰……………P 6

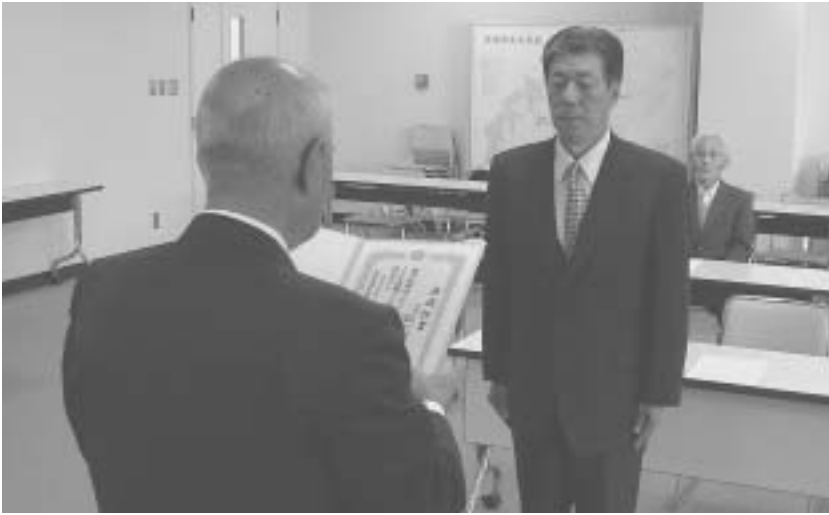
松崎地区秋祭の最後を飾る各社太鼓の揃い打ちが行われました。(11/3)

松崎町長選挙 深澤進氏が当選

任期満了(十二月十三日)に伴う町長選挙が十一月二十二日に告示され、「深澤進氏、石田正光氏、山本一司氏、武田勝彦氏」が立候補し、五日間にわたり激しい選挙戦が繰り広げられました。

十一月二十七日に町内十五箇所で投票が行われ、環境センターで即日開票されました。

開票結果は左記のとおりでした。



当選証書を受け取る深澤氏

松崎町長選挙開票結果

当選	深澤 進 氏 (73)	2,823票
	石田 正光 氏 (68)	638票
	山本 一司 氏 (57)	2,130票
	武田 勝彦 氏 (52)	245票
	当日有権者数	7,203人
	投票者数	5,904人
	投票率	81.97%
	有効票	5,836票
	無効票	68票

投票所別投票状況

投票所	有権者数 (人)	投票者数 (人)	棄権者数 (人)	投票率 (%)	前回 (%)
1. 松崎小学校	1,374	1,143	231	83.19	86.62
2. 江奈公民館	1,301	1,015	286	78.02	82.66
3. 桜田公民館	368	296	72	80.43	81.30
4. 伏倉公民館	398	327	71	82.16	81.46
5. 那賀公民館	531	437	94	82.30	82.54
6. 中川小学校	634	517	117	81.55	82.06
7. 門野公民館	45	43	2	95.56	86.79
8. 池代活性会館	188	155	33	82.45	85.35
9. 小杉原公民館	107	95	12	88.79	89.91
10. 岩科小学校	602	485	117	80.56	84.17
11. 八木山永禅寺	388	330	58	85.05	84.11
12. 道部公民館	365	297	68	81.37	84.55
13. 岩地公民館	272	232	40	85.29	86.78
14. 石部公民館	239	204	35	85.36	91.94
15. 雲見公民館	391	328	63	83.89	84.26
計	7,203	5,904	1,299	81.97	84.31



未来に繋ぐ一票(伏倉公民館にて)



開票所にて

行政改革大綱策定に向けて

行政調査委員会からの答申が提出されました

昨年の一〇月に町長から諮問を受け、約一年間にわたって行財政改革について協議を続けてきた行政調査委員会の馬場久委員長と福本靖副委員長が、一〇月二十七日に役場を訪れ、深澤町長に「松崎町行政改革大綱策定に向けての答申」を提出しました。

- ① 事務事業の見直し
 - ② 簡素でわかりやすい組織体制への再編・整備と職員定数の適正化
 - ③ 人材の育成と職員の意識改革
 - ④ 持続可能な財政基盤の確立
 - ⑤ 公の施設管理の効率化と経営の改善
 - ⑥ 積極的なまちづくり
- の六本の柱から成っています。これまでに経験したことがない非常に厳しい財政状況で

あることを認識し、「町民に評価される行政のあり方」といった観点から行政全体を抜本的に見直すこと。継続的な改善活動を通じて行政経営全体の品質を高めるとともに、徹底した職員の意識改革を実践し、前例踏襲主義からの脱却を図ること。行財政改革の実施計画や進捗状況などを具体的に住民に周知し、地域住民との協働により事業を推進し、全職員が一丸となって改革に取り組み執行体制を確立することなどが求められています。三位一体の改革が提唱され、地方分権が進み、権限委譲により役場の業務範囲は年々拡大していますが、国・県からの地方交付税や補助金は減額される方向にあり、税収の落ち込みとあいまって、町の収入は減少傾向にあります。さらに、県や町が作成した財政

シミュレーションでは、平成二〇年度前後に町の貯金である基金が底をつくことが予想されています。こうしたことを踏まえたうえで、職員定数や事業のあり方及び必要性などを検証し、限られた財源を有効に活用して行くことが必要であり、行政経営品質向上活動を通じて職員の意識を改革していき、新しい時代の行政に生まれ変わらなければならぬ地方行政の一大転換期が訪れていると考えています。町では、この答申を受けて、本年度末までに、行政改革大綱とその実施計画を策定するとともに、可能な限り平成十八年度予算にも反映させていきたいと考えております。大綱などはまとまりしだい広報やホームページでお知らせしてまいります。

松崎町廃棄物処理対策審議会（田中正志会長）は十一月十五日、「ごみ処理手数料の従量移行について」町長に答申しました。審議会は、委員十人で八月から近隣市町を含めたごみ処理の現状を把握し、町長から諮問のあった事項や地球温暖化など環境問題に対する課題であるごみの減量化・再資源化への取り組みなどについて、積極的な意見交換・協議を重ねてきました。

ごみ処理手数料の従量制移行を答申 減量化と公平負担 （廃棄物処理対策審議会）

図り、町民生活に従量制移行がスムーズに浸透することや、これからは町民と行政が協働してごみ減量化等をより一層推進することなどを求めています。

- 答申は、
- ① 町民のごみ減量化努力が直接反映され、負担の公平化を図れるので従量制移行が望まれる
 - ② 平成十八年四月一日移行することが適当である
 - ③ 手数料の収入額は、定額制のとくと均衡を保ち、町民生活に影響を与えないこと

従量制の目的

- 一、ごみ減量化の推進
 - 二、負担の公平性
 - 三、住民意識の高揚
 - 四、処理経費削減と施設延命化
 - 五、収集や焼却の効率化
- 従量制の目的を踏まえ、えで、町民に具体的に周知を
- 町では、この答申を受けて、今後条例等の改正を検討したいと考えています。具体的にまとまり次第、広報等でお知らせします。

重文岩科学学校・旧開智学校と姉妹館に



去る十一月五日、松本市において旧岩科学学校と長野県松本市にある旧開智学校との間で、姉妹館提携に係る調印式が行われました。

旧開智学校は、明治九年に建設されて以来、伝統ある信州教育を推進した学校です。

昭和三十六年には我が国最初の国の重要文化財に指定され、現在は数多くの教育資料を展示し、資料館として一般公開されています。

一方、旧岩科学学校も旧開智学校と同じ年代に建設され、現在は一般公開されて同様な活動をしています。

このたび、文化財保護と活用の関心を高めて教育文化の振興を図り、両市町民の友好親善と交流を推進するため、姉妹館提携を行ったものです。今後は、お互いが持っている資料や情報の交換、文化財保護に関する協力及び様々な

友好親善事業が実施できたらと考えています。



旧開智学校にて

鏝塚 寄贈

伊豆の長八美術館敷地内に建設が進められていた鏝塚が完成し、十一月十二日に落成式が行なわれました。

鏝塚は日本左官業組合連合会が、左官職人が使用した鏝を奉納保存する施設として建設したもので、全国でも初の施設となります。

施設は、八角形の銅版屋根が付いた高さ五層、直径三層の円筒形で正面の「鏝塚」の文字は小泉純一郎首相の書によるものです。また、外観には、鶴や虎・竜の漆喰鏝絵が



描かれるなど左官技術の粋を集め、建設されました。

落成式には、日左連の肥後会長をはじめ関係者ら約五十人が出席。神事、除幕式に続いて小泉首相が揮毫した扁額が、首相の弟、小泉正也氏から町長に贈呈されました。

また、元左官職人の歌手、新沼謙治さんもお祝いに駆けつけ、特設ステージで「左官職人こね太郎」などの歌を披露したほか、餅まきにも参加していただきました。



税法が改正されました

定率減税の額が引き下げられます

平成18年度個人住民税について、税額から定率による税額を控除する「定率減税」が引き下げられます。

〔現行〕個人住民税所得割額 15%相当（上限額4万円）

〔改正〕個人住民税所得割額 7.5%相当（上限額2万円）

65歳以上の人に適用されていた

個人住民税の非課税措置が廃止されます

平成18年度から65歳以上の人のうち、前年合計所得金額が125万円以下の人に対する個人住民税の非課税措置が、廃止されます。ただし、経過措置として平成18年度は、所得割および均等割の税額の3分の2を減額します。

生計同一の妻の均等割が全額課税となります

均等割の納税義務を負う夫と生計を同一にする妻で、夫と同じ市町村に住所を有し、前年合計所得金額が28万円を超える人の均等割について、全額課税となります。

〔現行〕平成17年度は均等割2分の1を課税

〔改正〕平成18年度からは均等割を全額課税

町では救命効果の向上を図ることを目的に自動体外式除細動器（AED）を購入しました。AEDとは、救急現場で一般の人でも簡単に安心して除細動を行うことができるように設計された機器です。AEDは、コンピューターによって傷病者の心臓のリズムを自動的に調べて、除細動が必要かどうかを自動的に決定するとともに、どういう操作をすべきかを音声メッセージで指示してくれます。除細動を行う必要があるときに限って、除細動を実施するようこの指示を音声メッセージで具体的に出す仕組みになっており、安全性が十分に確保されています。

AEDの登場により、医師や救急車に乗っている救急救命士などの専門職以外の人でも、安全・確実に除細動ができるようになりました。具体的には、心筋梗塞や不整脈などにより突然に心臓が止まった傷病者の命を救うために、人工呼吸や心臓マッサージを直ちに始めることは、脳に発生する障害を遅らせることができ、とても大切なことです。しかし、心臓のリズムを正常な状態に戻すためには心臓に電気ショックを加える除細動を早期に行うことが最も適切な処置です。これまでは、医療資格を持たない一般の人々が除細動を行うことが認められていませんでしたが、昨年七月から可能になりました。

今年から消防団の普通救命講習の中にはAEDの講習も加えられ、多くの団員が受講しました。また、町の職員においても講習を受け緊急時に備える体制をとりました。今後は町の行事において配備をし、いざという時に備えます。

除細動器導入

— 救命活動に活用 —

松崎町功労者表彰

松崎町功労者表彰式が十一月九日（水）に環境センター

文化ホールで行なわれました。

この表彰は松崎町表彰条例に基づき、町の自治や福祉等様々な分野で町の発展に寄与された方々の功績を称えるものです。

今年の受賞者は次の方々です。



功労表彰

中区 山崎義男さん

（元消防副団長）

多年にわたり消防人として職務に精励し、防災行政の振興に貢献されました。

有功表彰

八木山 田口幾雄さん

（元消防分団長）

多年にわたり消防人として職務に精励し、地域の安全と防災思想の普及に貢献されました。

江奈一 船津英江さん

（元民生委員）

多年にわたり民生委員・児童委員として社会奉仕の精神のもと、地域の住民福祉向上に貢献されました。

池代 山本春美さん

（元民生委員）

多年にわたり民生委員・児童委員として社会奉仕の精神のもと、地域の住民福祉向上に貢献されました。

峰 山本五重さん

（民生委員）

多年にわたり民生委員・児童委員として社会奉仕の精神のもと、地域の住民福祉向上に貢献されました。

町長感謝状

静岡市 森 文嗣さん

明治時代からの商家の建物を寄贈し、町の文化財保護と地域の活性化に貢献されました。

松崎文芸

—短歌—

旅先のグレープフルーツは口にあわぬもぎたての味になれ
ある舌には 平野 もみ子

たのまれて作るにあらねど児らの服わが楽しみの時となり
うる 端山 きち枝

単線の駅にて交はず下り電車の遅れみらし待たされてみ
つ 中村 宣子

横たへる姿に見えし山の背をほのかに染める月の出を待つ
堀岡 洋子

さめぎはの夢といふもの楽しかり世になき人来て語りゆき
にし 高橋 栄美

父よりも若く逝きたる母のこと歳を重ねきてなほ更思ふ
山本 智恵子

朝夕に初なりレモンに気を取られ黄に色づくを心待ちしつ
土屋 君子

合はせたる手の指先は天をむく祈ぎ事よまっすぐ天へとの
ぼれ 岡村 芳子

ぬかりなく詰めてゆくのみこんこんと湧き出る水に指をひ
たしつ 高橋 百代

まちのびろいっす

松崎地区秋祭



十一月二日・三日の両日、旧町内は笛や太鼓の音が響き渡り、秋祭一色になりました。二日は、法被姿の若衆の獅子舞が各世帯を回り、家内安全と無病息災を祈念しました。三日は、各神社で奉納相撲や三番叟の奉納が行われ、午後八時には町内の太鼓台が商店街に集結し、太鼓の揃い打ちが行われ、大勢の人出で賑わいました。

力作集まる 秋の芸術祭



松崎町文化協会主催の「第二十五回秋の芸術祭」が、十一月五日から七日にかけて、環境改善センターで開催されました。会場には、絵画、彫刻、書道、写真、漆喰鏝絵、工芸、手芸、華道、盆栽、短歌、俳句の十一部門に三百点近い力作が展示され、来場した皆さんも熱心に作品に見入っていました。

音のピカイチ



十一月二十日(日)、環境改善センターで、松崎町商工会青年部が主催する「第七回音のピカイチ」が開催され、各幼稚園や小学校の歌や踊り、松高ブラスバンド部の熱演に、会場に訪れた皆さんから拍手喝采がおこられました。また、生涯学習講演会の一環としてトシ(元Xジャパン)さんの癒しのコンサートも行われ、盛況を博しました。

決意も新たに

先の町長選で、皆様からご支持をいただき、改めて町政を任せていただくことになりました。

単独路線を選んだ我が町は、現在行財政改革に取り組んでいるところですが、県で公表した財政シミュレーションによると、平成二十年頃には基金を使い果たし、破たんするという予測が出されており、町を取り巻く環境はさらに厳しくなっていくと思われるからです。

基幹産業である観光を取り巻く状況が厳しさを増すなか、新国民宿舎が来春オープンを予定しており、建設の進む新港湾の早期完成と併せて町の活性化のきっかけとなってくればと期待しています。

また、町道山口雲見線、

高通山く長者が原の整備計画などが現在進行中で、町内にある観光資源を有効に活用し、旅客誘致を図っていきたくと考えています。

今後の課題として、これからはどうすれば松崎らしさを後世に残していけるのか、町長として新たな決意をもって町づくりに取り組んでいく所存ですので、今後とも皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

松崎町長

深澤 進



町長室からこんにちは ④8

町の人口と世帯

(平成17年11月1日現在)
 () 内は前月比
 総人口 8,565人 (-11人)
 男 4,080人 (-5人)
 女 4,485人 (-6人)
 世帯数 3,148戸 (+1戸)
 転入 17人 転出 26人
 出生 3人 死亡 7人

(10月分)
 戸籍だより

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
峰輪	馬場 久	85	利 実
江奈2	池野とよこ	95	料 文
南郷	松原文子	57	勝 之
櫻田	高木義昌	72	和 彦
峰	山本よしゑ	77	達 雄
中区	関 きち	93	吉 雄
雲見	土屋和雄	78	いせ子

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈2	朱 蕾 <small>シユラ</small>	男	石田 広 貴
櫻田	咲 弥 <small>サクヤ</small>	男	齋藤 孝 規
櫻田	拓 <small>タク</small>	男	佐藤 周

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成17年11月15日現在
 () 内は前年対比
 人身事故 36件 (-7)
 物損事故 101件 (-15)
 死者 0人 (±0)
 傷者 51人 (-6)

保健師だより
 太ってきたら要注意!

男性は三十歳台から
 女性は四十歳台から太り始める

国の基準ではBMI(肥満度を示す体格指数)二十五以上を肥満としています。が、当町においてはBMI三十以上の人が基本健診受診者の三・四%と、全国の二・二%に比べて多いという結果が出ています。

肥満は生活習慣病につながる

肥満になる前には、高脂血症という状態が続きますが、全国平均が十二%であるのに対し、当町は二十三%と倍近いという結果が出ています。又肥満は糖尿病の大きな原因だと言われていますので、今後が心配になります。

ウエスト周囲径を測りましょう

日本肥満学会では、内臓脂肪型肥満の目安として臍周囲径計測を薦めており、男性八十五センチ、女性九〇センチ以上を、より生活習慣病につながりやすい「上半身肥満の疑い」として注意を促しています。

学校ひろば

(54)

松崎中学校

☎四二一〇一四三

音楽会への取り組み

十月二十日(木)、松崎中学校音楽会が行われました。この音楽会に向けて生徒達は一学期から準備してきました。二、三年生は週一回しかない音楽の授業の中で四月から課題曲の練習と自由曲の選曲を始めます。一年生は中学生らしい本格的な合唱をするための基礎的な練習をし、先輩達の音楽会への取り組みを学び、選曲、練習始めます。担任の先生も協力し、生徒達は最優秀賞を目指して選曲や指揮者、伴奏者を決める話し合いを真剣に進めます。こうした話し合いや合唱練習を通してクラスの団結が少しずつ作られていきます。今年は何とか一学期中に、最後まで歌えるようになりました。

今年の合唱の中で音楽科として目指したものは、曲に込められた想いを感じ取り、自分の心と音楽が一つになる合唱を創る、ということでした。

曲と自分の心の理解が深まるよう、ただ声を出す練習だけではなく、曲についての話し合いを機会あるごとに行いました。音楽は心の動きを直接表現します。その表現力を自分のものにしてほしい、と願いながら二学期は曲を仕上げの練習を重ねました。

本番当日、歌うのは本当にあつという間です。その一瞬に自分の想いを込めて歌い上げた生徒は素晴らしい笑顔を見せてくれました。

